【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和5年10月23日(2023.10.23)

【公開番号】特開2022-8829(P2022-8829A)
【公開日】令和4年1月14日(2022.1.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-006
【出願番号】特願2021-163408(P2021-163408)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ 17/389(2006.01)
Ｃ０７Ｃ 19/08(2006.01)
Ｃ０７Ｃ 21/18(2006.01)
Ｃ０９Ｋ 5/04(2006.01)
Ｃ０１Ｂ 39/24(2006.01)
Ｃ０１Ｂ 39/26(2006.01)
Ｃ０１Ｂ 39/46(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/26(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/28(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/04(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 15/00(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 15/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ 17/389
Ｃ０７Ｃ 19/08
Ｃ０７Ｃ 21/18
Ｃ０９Ｋ 5/04 Ｄ
Ｃ０１Ｂ 39/24
Ｃ０１Ｂ 39/26
Ｃ０１Ｂ 39/46
Ｂ０１Ｄ 53/26 ２００
Ｂ０１Ｄ 53/28
Ｂ０１Ｄ 53/04
Ｂ０１Ｄ 15/00 Ｋ
Ｂ０１Ｄ 15/00 Ｌ
Ｂ０１Ｄ 15/02 １０２

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月13日(2023.10.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
フッ素系炭化水素化合物を含む組成物の脱水方法であって、
前記フッ素系炭化水素化合物は、2,3,3,3-テトラフルオロプロペン（ＨＦＯ-1234yf）を含み、
前記フッ素系炭化水素化合物を含む組成物を、シリカアルミナ（SiO_2／Al_2O_3）比が5以上のゼオライトに接触させる工程を含む、脱水方法。

【請求項２】
フッ素系炭化水素化合物を含む組成物の脱水方法であって、
前記フッ素系炭化水素化合物は、2,3,3,3-テトラフルオロプロペン（ＨＦＯ-１２３４ｙｆ）を含み、
前記フッ素系炭化水素化合物を含む組成物を、チャバサイト型ゼオライトとエリオナイト型ゼオライトとの混合物の合成ゼオライトに接触させる工程を含む、脱水方法。
【請求項３】
前記工程は、脱水後の組成物において、水分量を3ｐｐｍｗｔ未満とする、請求項1又は2に記載の脱水方法。
【請求項４】
シリカアルミナ（SiO_2／Al_2O_3）比が5以上のゼオライトに、2,3,3,3-テトラフルオロプロペン（ＨＦＯ-１２３４ｙｆ）を含むフッ素系炭化水素化合物を含む組成物を接触させて、該フッ素系炭化水素化合物に含まれる不純物を除去する工程を有することを特徴とする高純度フッ素系炭化水素化合物の製造方法。
【請求項５】
チャバサイト型ゼオライトとエリオナイト型ゼオライトとの混合物の合成ゼオライトに、2,3,3,3-テトラフルオロプロペン（ＨＦＯ-１２３４ｙｆ）を含むフッ素系炭化水素化合物を含む組成物を接触させて、該フッ素系炭化水素化合物に含まれる不純物を除去する工程を有することを特徴とする高純度フッ素系炭化水素化合物の製造方法。
【請求項６】
前記不純物は、水、及び、1,1,2,2-テトラフルオロエタン（ＨＦＣ-１３４）からなる群から選択される少なくとも一種の成分である、請求項4又は5に記載の製造方法。
【請求項７】
前記不純物除去後のフッ素系炭化水素化合物に含まれる水分濃度は、水分量が3ｐｐｍｗｔ未満である、請求項4又は5に記載の製造方法。